

【長崎県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
長崎市		<ul style="list-style-type: none"> ・啓発用チラシを作成し、市役所、支所、行政センター等の窓口に設置 ・出前講座での相談窓口紹介 ・「おこづかい楽習ゲーム」等による金銭教育 	<p>多重債務問題が大きな社会問題となっている中、2007年10月から弁護士会での多重債務相談が1回は無料で受けられるようになる等の前進は見られるものの、限られた時間の中では、問題解決が困難な場合もあり、まだ多くの多重債務者にとって敷居が高いものであると思われる。より一層の窓口の充実が望まれる。</p>
平戸市		<p>弁護士・司法書士による無料相談会の実施</p>	<p>専門家(弁護士・司法書士)の相談は有料だから、自分でなんとか解決したいと思っている人が多い。しかし、法テラスの民事法律扶助制度を使えば、無料で相談できるし、経費も立替えてもらって分割で支払うことができるので、法テラスのことを知ってもらう必要がある。</p> <p>ほかにも、県弁護士会の行う法律相談で、多重債務に関する相談は無料であるがあまり知られていない。定期的に行われているといっても、2ヶ月に1,2回くらいの相談会なので、法律相談をすぐ必要とする相談者にとって利用しにくい。</p> <p>都市部のように法律事務所がたくさんあるわけではない。弁護士ゼロ・ワン地域で、多重債務に関する相談が増えると予想されるなかで、月1回でも無料相談会があれば、多重債務者の救済が早くできると思う。</p>
五島市		<p>広報紙での啓発。「無料法律相談会」の開催。「多重債務の解決方法」の放送。</p>	<p>庁内連絡会議を立ち上げたい。関係機関との連携した取り組み。</p>
西海市		<p>昨年12月の多重債務相談ウィーク時に、西海市にて弁護士・認定司法書士による相談所を開設していただき、多くの相談がありました。ありがとうございました。その時の認定弁護士さんと連絡をとりあい、5月の消費者月間にあわせて5/17に認定弁護士による多重債務相談を開催予定です。</p>	
南島原市	<p>民生委員の定例会で説明</p>		<p>弁護士の無料相談の日数が少ない</p>
時津町			<p>他業務との兼業であるため限界がある。専門相談員の設置に国県の補助制度を検討してほしい。</p> <p>また、県センター等上位機関の縮小は絶対にしないでほしい。</p>
川棚町			<p>多重債務者は居住地内の町役場等には知人等もおり相談に来られない状況の様で、実際に電話で相談があっても名前は名乗らないケースがほとんどです。こういう状況を考えると県北地域、県中央地域など地域単位での相談窓口があれば行きやすいのではないかと思います。</p>

【長崎県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
波佐見町		<p>現在、波佐見町社会福祉協議会が2ヶ月に1度弁護士相談を開催。そして、この弁護士相談の広報も町内放送や広報誌を通じて周知し、弁護士に気軽に相談しやすい体制を提供。うち、1件の多重債務相談有。</p>	<p>平成19年10月1日～平成20年3月31日の間に当町で多重債務に係る相談は0件であったが、平成19年12月13日に川棚町で開催された「多重債務者向け無料相談会」に出席した際、3件中2件が当町内在住の方であった。また、平成19年11月2日のアルカス佐世保で開催された担当者会議内で、佐世保市が受ける相談者のうち佐世保市外の近隣町からの相談も数多いという結果も踏まえて、当町内でも多重債務に係る問題を抱えている実数が少なくないと思われる。よって、その実態を正しく把握するためにも、管轄外地域からの相談があった場合は定期的にその管轄地域市町担当者にもその件数を教えていただきたい。(月は 件でした。など)</p>